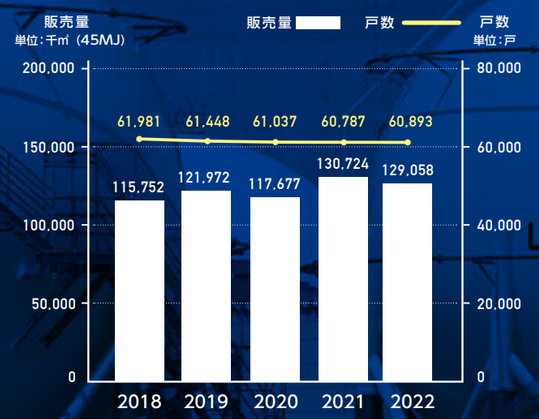
日本海ガス絆HDGの事業報告

ガス事業　Gas energy

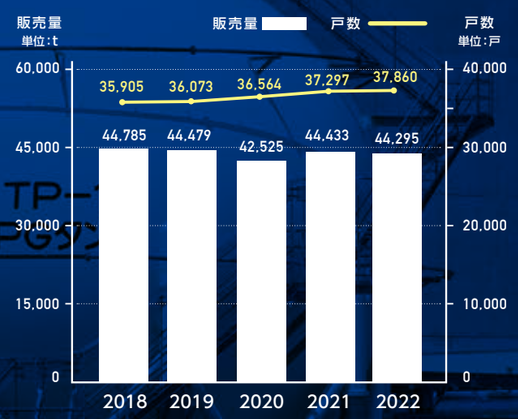
「快適で豊かなくらしの創造と地球にやさしい環境づくりに貢献する総合エネルギーグループを目指す」というグループ経営理念のもと、クリーンで環境特性に優れた天然ガス・LPガスの普及拡大に努めるとともに「ガスのある快適な暮らし」、を皆さまにお届けすることに日々精進しております。

お客さま戸数（都市ガス+LPガス）	98,753	2022年度末 戸
都市ガス販売量	129,058	2022年度 千㎥
LPガス販売量	44,295	2022年度 t

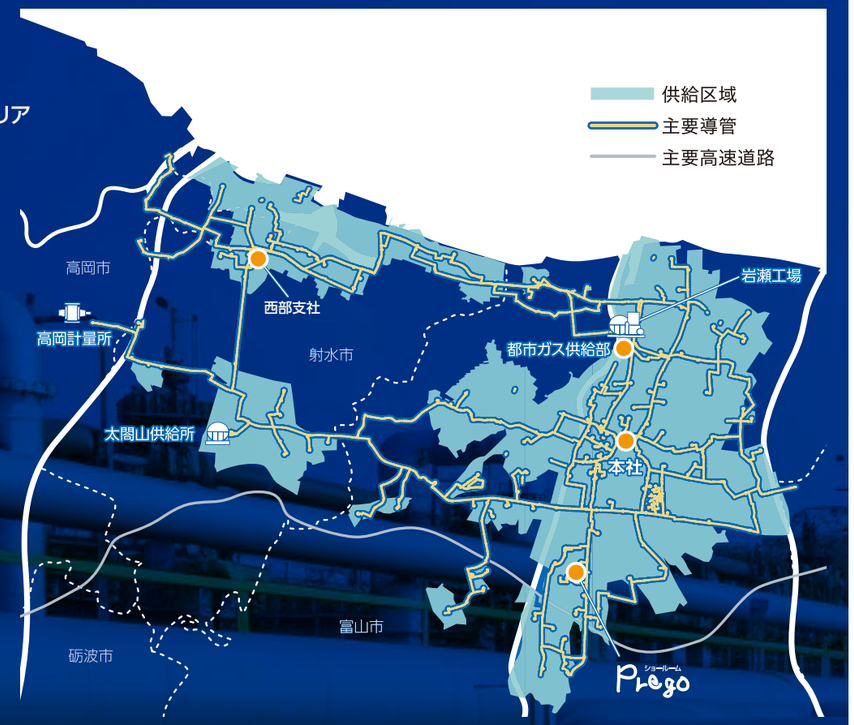
都市ガス　販売量とお客さま戸数



LPガス　販売量とお客さま戸数



都市ガス　供給エリア



本支管延長

単位：km

	導管総延長
2018年	1,488.3
2019年	1,489.8
2020年	1,489.2
2021年	1,493.5
2022年	1,498.7

LPガス　供給エリア

地域の産業と生活基盤を支える分散型エネルギーシステムの普及

ガスはお客さまの暮らす地域の産業、そして生活を支える重要なエネルギーインフラの1つです。昨今頻発している自然災害に備え、エネルギーのベストミックスを推進することで、リスク分散を図ることができます。コージェネレーションシステムは、都市ガスやLPガスで電気と熱を同時に供給するシステムです。発電した電気と排熱の両方を無駄なく利用することにより、省エネルギー、CO_2削減に大きく寄与します。また、停電時でも起動できるブラックアウト対応仕様の機種も登場しています。

GHPはガスエンジンとヒートポンプによって冷暖房を行う空調システムです。ガスエンジン排熱を有効利用した省エネ、電力ピークカットを達成します。教育現場への導入も進み、快適な学習環境の提供を通じて、高度な教育の提供にも貢献しています。当社グループではお客さまのニーズにマッチしたコージェネレーションシステム、ガス空調システムを提案し、レジリエンスと低・脱炭素の両立を推進しています。

介護老人保健施設みどり苑 様

北陸3県の老人保健施設初の停電対応型コージェネレーションの導入

施設を運営されている五省会様はガスコージェネレーションシステムならびに都市ガス焚き温水ボイラーを導入し、「災害時における施設機能の維持と入居者の生活環境の向上」と「平常時のCO_2排出抑制」を同時に実現しました。従来より富山市と「災害時に置ける福祉避難所の設置運営に関する協定書」を締結されており、停電セキュリティを飛躍的に向上させることによって福祉避難所としての機能をより一層拡充されました。

稼働開始日　2021年12月

設備概要

■ガスエンジン発電機 ： 35kW

■吸収式冷温水発生器：80RT×2台

■GHP：65HP

富山市公設地方卸売市場 様

稼働開始日　2023年3月

エネルギーの有効利用と非常災害時の物流拠点としての役割を担うため

富山市の「富山市公設地方卸売市場再整備事業」に参画しました。災害時の安定的なエネルギーの確保に寄与する電源自立型GHP、環境性・省エネ性に貢献するハイブリッド空調スマートマルチが導入されました。

耐震性に優れた都市ガス導管で防災性を強化し、卸売市場の物流を支えています。

APAホテル富山駅前 様

稼働開始日　2023年3月

宿泊業における脱炭素化のモデルとして

アパグループ様への脱炭素施策として、1997年4月から営業されている「アパホテル富山駅前」様にA重油→都市ガスへの燃料転換とともにガスコージェネレーションシステム・GHPチラー・都市ガス焚き温水ボイラーをご採用頂きました。環境省令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（通称：SHIFT補助金）を活用し、設備更新+運用改善で508t-CO_2/年の削減量（事業所全体で30.8%の削減率）を目標に掲げ、温室効果ガス削減に寄与しています。

コージェネレーションシステム普及状況

都市ガス

設置先需要家	能力：kW	稼働開始
とよた保育園	10kW	2016年 7月
富山市立豊田公民館	5kW	2017年10月
(株)大塚製薬工場	900kW	2020年 2月
パレブラン高志会館	5kW	2021年 2月
中央薬品(株)	5kW	2021年 4月
APAホテル富山	25kW	2021年12月
介護老人福祉施設　みどり苑	35kW	2021年12月
南富山中川病院	70kW	2022年 1月
太閤の杜	5kW	2022年12月
高重記念クリニック	5kW	2022年12月
APAホテル富山駅前	25kW	2023年 2月
APAヴィラホテル富山駅前	5kW	2023年 2月

停電対応型GHP

都市ガス

設置先需要家	能力：HP	稼働開始
とよた保育園	20HP	2016年 7月
(株)廣貫堂　呉羽工場	20HP	2021年 2月
高重記念クリニック	40HP	2022年12月
富山市公設地方卸売市場	20HP	2023年 3月

災害時に強いエネルギー

災害時においてLPガスは供給回復が非常に早いエネルギーです。国はエネルギー基本計画の中で、災害時エネルギー供給の『最後の砦』として位置づけています。

今回採用していただいた災害用バルクは、ガスメーターやガス漏れ警報器が一体化され、業務用コンロや炊飯器、給湯器、暖房器、発電機などを組み合わせることによって、災害時にエネルギー供給が途絶した場合でも、備蓄したLPガスを使いライフライン機能を維持することができます。また地域防災活動として、防災訓練など地域活動にも貢献しています。現在は国からの補助金もあり、設備負担の軽減を図ることができます。

イオンモール白山 様

大型ショッピングモールを地域の防災拠点に

北陸エリア最大級の店舗が集結するイオンモール白山様にLPガス災害対応型バルクと停電時でも稼働できるガス空調（冷房・暖房運転）ならびに非常用発電機を導入しました。災害時には避難者、帰宅困難者、従業員の1,100人を収容する大規模な避難拠点として、空調及び炊き出し、電源の確保等に使用し、避難所としての機能を果たします。また当施設は白山市との「地域貢献連携協定」を締結され、地域の防災拠点として、さらには復興の拠点としての役割を担っています。

稼働開始日　2021年7月

設備概要

【導入設備】
■GHP室外機×16台　総馬力数 400HP（ダイキン製）
■非常用ガス発電機×1台　発電量 54kW（デンヨー製）
■小型ガス発電機×3台　定格出力 1.5kVA（ホンダ製）
■投光機：バルーン投光機×3台（矢崎総業）

【供給設備】
■LPガス災害対応型バルク 2.9t×3基、298kg×1基

APAホテル金沢西 様

プライバシーが確保された避難所施設として

北陸自動車道金沢西インターチェンジに近く、ビジネスや観光、合宿などに利便の良いホテルに、LPガス災害対応型バルクとGHPならびに非常用発電機を導入しました。非常用発電機でGHPの電源を確保して空調を稼働します。当ホテルは「かなざわ災害時等協力事業所」に登録され、災害時には客室の一部を開放して避難所施設として協力されます。ホテルという特性を生かし、個別にスペースを必要とする避難者へ提供することができ、プライバシーを確保した拠点としての役割を果たすことができます。

稼働開始日　2022年11月

設備概要

【導入設備】
■GHPチラー室外機×5台
　総馬力数 125HP（パナソニック製）
■非常用ガス発電機×1台　発電量 54kW（デンヨー製）

【供給設備】
■LPガス災害対応型バルク980kg×2基

特定医療法人扇翔会　南ヶ丘病院 様

地域の医療防災拠点としての役割を果たすため

南ヶ丘病院様は災害発生時には入院患者と勤務する医療従事者の滞在の他、建物内の病室や待合室・廊下など共用スペースを可能な限り開放し、入院患者以外に他の避難所からの診察・治療が必要な近隣住民等を収容する一時避難所としての役割を担っています。商用電力が止まった際には非常用発電機によりガス空調や強制気化装置の電力を確保し、空調を稼働させ避難者の健康維持等に役立てることができます。また、バルクの付属設備であるガス栓ユニットに小型ガス発電機やガス機器を接続し、敷地内で投光機の使用や炊き出しを行うことも可能で、避難所としての機能をより一層高めています。

稼働開始日　2021年6月

設備概要

【導入設備】
■GHP室外機×9台　総馬力数185HP
　（ヤンマーエネルギーシステム）
■非常用ガス発電機×1台　発電量 54kW（デンヨー製）
■小型ガス発電機×1台　定格出力900VA（ホンダ製）
■投光機：バルーン投光機×1台（矢崎総業）

【供給設備】
■LPガス災害対応型バルク　2.9t×1基

快適で豊かなくらしの実現に向けて

『So-Raファーム』の提供開始

富山県・石川県内で新築戸建て住宅を建築し、家庭用燃料電池「エネファーム」をご採用のお客さまを対象に、太陽光発電システム設置費用の負担が0円となるサービス『So-Ra　ファーム（そらふぁーむ）』の提供を開始しました。本サービスの提供を通じ、「ZEH※」の普及拡大に貢献し、同時に災害時にも「自宅が避難所」となるレジリエンス住宅の普及を訴求し、地域の皆さまとSDGs達成に向け貢献していきます。

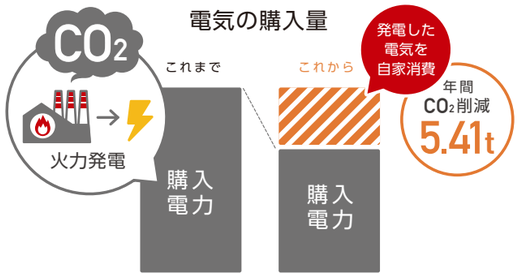
※ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略。年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとなることを目指した住宅。

ショールームPrego 太陽光発電システム

総合エネルギーグループとして、地域のレジリエンス（強靭性）向上と低炭素化を推進しています。ショールームPregoに自家消費型太陽光発電とリチウムイオン蓄電池を設置しました。この事業は県内民間事業者として初めて、環境省の「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」に採択されました。

脱炭素・低炭素化への貢献

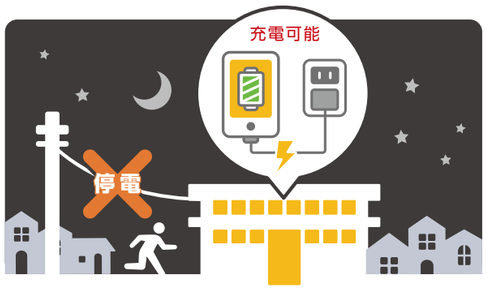
ショールームPrego屋上に設置した太陽光発電設備で発電した電気は、売電することなく、ショールーム館内で自家消費しています。電気の購入量を削減することで、温室効果ガスの排出量を減らし、脱炭素化・低炭素化に貢献しています。



環境省の「地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック」（平成29年2月）より。
商用電力のCO_2排出係数を0.579kgCO_2/kWhとして計算

レジリエンスの強化

リチウムイオン蓄電池ユニットによって災害等による停電時でもLED照明やコンセントが使用できます。ショールームPregoは富山市の「災害時等協力事業所登録制度」に基づき、市民の一時避難場所として登録されています。既設のガス発電設備（ガスコージェネレーション）に加えて太陽光発電設備と蓄電池を導入したことによって、さらなるレジリエンスの強化に繋げています。



エネファーム

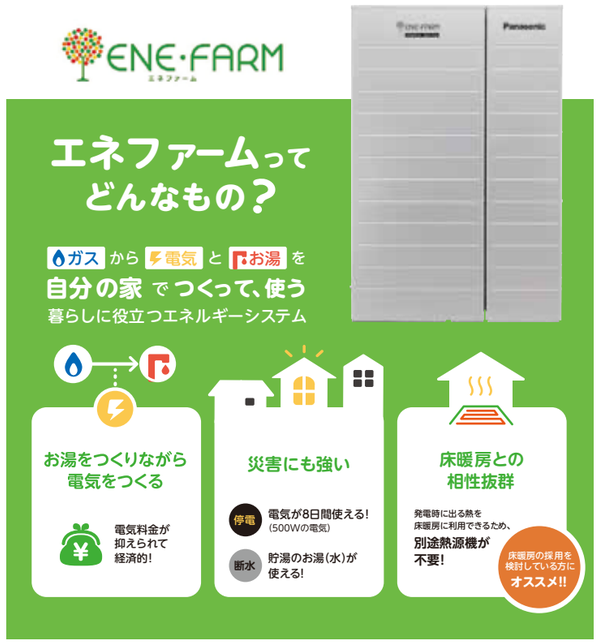
電気とお湯を同時につくる新しいエネルギーシステム

エネファームはガスから取り出した水素と空気中の酸素との化学反応で発電します。発生した電気は、家庭用の交流に変換され、分電盤で電力会社の電気と一緒になって、お部屋まで届けられます。発電の際に生じた熱によってつくられたお湯は、浴室やキッチン、洗面所に活用。また、急な来客などでたくさんのお湯が必要になった時も安心。バックアップ用の熱源機がお湯切れをカバーしてくれます。発電の際にタンクに貯めたお湯の熱も床暖房へ利用できるので熱効率がアップします。

機器販売台数

単位:台

機　種		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
エネファーム	TG	76	49	54	56	53
	LP	84	111	101	83	104
	計	160	160	155	139	157



ガス展2022

第60回目の節目となるガス展2022は、『つなぐ絆、ひろがる輪』をテーマに実施しました。若手社員を中心にガス展WGを発足し、ガス展プレイベントの『とやまみらいフェス2022』では地域密着型のイベントやマルシェを開催することで、日本海ガスの認知とガス展への誘導、コミュニティー作りに取り組みました。ガス展会場もこれまでの紅白幕を基調とした装飾からハロウィンの季節に合わせた雰囲気へ変更しました。また、第50回ガス展の際にお子さまから作品を集めたタイムカプセル開封セレモニーを行い、ガス展へ来場したことのない層へのアプローチをした結果、若年層の来場数を増やすことができました。

見えない価値 安定供給

当社グループは、ライフライン事業に携わる企業集団として、「安心・安全・快適な生活環境づくり」に積極的に取り組んでいます。また、都市生活のための安定したガスエネルギーの供給に応えられるよう、「高度な技術力」により地域の快適な暮らしの創造に貢献できる企業を目指しています。

工場の保安体制

万一の火災発生に備え自衛消防組織を編成し、定期的に初期消火活動の訓練を行い防災に努めています。自衛消防隊消防操法大会では毎年好成績を収めています。また、電力会社から供給される商用電源が停電となった場合でも、都市ガス製造に支障が生じないよう、全停電を想定した訓練を行っています。

非常用発電機
緊急稼動訓練

災害への備え

地震計（Siセンサー）

供給区域内に合計19台の地震計を設置しています。地震発生時には各地点のデータを自動収集し、被害状況の早期把握が可能です。

移動式ガス発生設備

導管による都市ガス供給を停止した場合でも、公共性の高い施設にガスを供給できるよう移動式ガス発生設備4基を備えています。

経年管取替の推進

供給区域内のガス導管は耐震性、耐食性に優れたポリエチレン管への取替を順次進めています。2022年12月末の導管耐震化進捗率は97.8%となっています。敷設年度や管の材質などにより優先度を決め、最も優先度の高い経年管（ねずみ鋳鉄管）の取替は、2015年12月末に完了しています。

緊急時の対応

本社、西部支社、金沢支社ではガス漏れなど万一の緊急事態の発生に備え、24時間体制での通報受付・緊急出動が可能な体制を取っています。

LPガス集中監視システム

LPガス貯蔵所やお客さま宅には遠隔監視システムを設置し、ガス漏れ・ガス圧力異常などの緊急情報を24時間体制で監視しています。

防災訓練の実施

毎年社内での防災訓練を実施しています。2022年は各対策班が課題に挙げている項目に対し、対応策の検証と問題点の抽出を目的に訓練を実施しました。

訓練参加者は、地震災害が起こった際に社員としてどう行動するかを確認し、新たな改善点を見つける良い機会となりました。今後も防災への意識を高く持ち、災害対応力の強化を図っていきます。

「働きやすい職場認証制度」取得

テルサウェイズ本社・岩瀬営業所・高岡営業所において、国土交通省が認定する「働きやすい職場認証制度」の一つ星認証を取得しました。この制度は、事業者の職場環境改善に向けた取り組みを「見える化」することで、ドライバーへの就職を促進し、運送事業者の人材確保の後押しを目的に創設されました。①法令の遵守等②労働時間・休日③心身の健康④安心・安定⑤多様な人材確保・育成の5分野を点数化し、一定基準をクリアした事業所に認証が与えられる制度です。ドライバーにとって、より働きやすい労働環境を整備していきます。

環境にやさしい取り組みをしている運輸事業者を認証する「グリーン経営認証」取得

テルサウェイズは、深刻化する地球温暖化を防止するため、輸送サービスの提供という事業活動を通じて、人と環境にやさしく豊かな社会づくりに貢献することを基本理念とし、交通エコロジー・モビリティ財団が認証する、「グリーン経営認証」を2010年に取得し、エコドライブ活動や低公害車の導入、自動車の確実な点検整備の実施により、環境に悪影響をあたえないよう活動して来ました。今後もこの環境保全への取組みを継続して実行し、さらなる向上を目指していきます。

SUPPORT SOCIETY
インフラ整備事業

私たちは、空気・水・エネルギー等、地球から与えられた資源を技術と知恵でコントロールし、人にとって必要で快適な空間・環境を追求してきました。より快適な空間を創造すること、そして地球環境を守ること、この2つを両輪として前進していくための新たな未来への道を拓き続けています。

2022年度末

冷温水機設置台数	能力
1,771台（点検契約台数）	194,230RT

GHP・EHP設置台数	能力
7,187台（点検契約台数）	111,506RT

空調機器販売事業

当社グループは空調機器等のメーカー各社の代理店として、吸収冷温水機、GHP・EHPなどの空調機器、ボイラ等を販売しています。私たちはこれらの機器と併せてメンテナンスなど技術的なサービスをご提供することを基本姿勢として販売を展開。営業スタッフはメンテナンスサービスを生かし、ユーザーのご要望を的確に把握して最適な設備機器をご提案しています。また現場で掴んだニーズをメーカーへフィードバックするなど、メーカー各社とも緊密な連携を独自に育んでいます。

また度重なる震災以来、地震に強い非常用発電設備として評価が高まるガスタービン発電機や、飛躍的な省エネルギーを実現するシステムとして注目を集めるコージェネレーションなど、私たちはこれまでの実績を踏まえて、さらに新しい技術や知識を充実させ、先進のシステムの提供に取り組んでいきます。

建築設備事業

建築設備には「空調換気設備」「給排水衛生設備」「電気設備」などがあります。どれもが重要な設備であり、すべてが一定のレベルで整っていないと生活も仕事も満足にはできません。当社グループはこれら建築設備の設計・施工管理を通じて、あらゆる屋内環境の”快適”を創り支えています。ニーズが高度化・多様化するオフィス環境づくりに、先進のシステムが求められる産業空調に、さまざまな角度から設備と工事のクオリティを追求し、北陸を中心にユーザーの期待と信頼にお応えしています。

また、さまざまな建築設備のリニューアル工事にも対応しており、設備全体の現状の診断を実施し、省エネ・省CO_2・BCP対策を念頭においた最適な提案および施工を行っています。

環境問題への配慮は、建築設備においても今後の取り組みが不可欠なテーマであり、省エネルギーやCO_2削減を追求した空調設備、水資源を有効に生かす給排水設備、自然環境を汚さない排水処理など、当社グループは建築設備の領域から、地球環境と共生する快適性の実現へ向け、その一翼を担っていきます。

メンテナンス事業

建物設備のメンテナンスは、快適な室内環境を保つための要です。当社グループは人財育成プログラムに基づいた若手社員のスキルアップを実践しつつ、各メーカーとの長年の連携を通して蓄積した技術を生かし、迅速かつ細やかなメンテナンスサービスを提供しています。

お客さまからのご要望には24時間・365日体制で対応。また電話回線を利用した遠隔監視システムの導入を進め、設備機器の稼働状況を常時チェックすることを可能にし、安全・安心な運転と管理を低コストで実現しています。

また水回り等の衛生機器、電気設備など、建物の各種設備が日々正常に稼働し続けることも空間を快適に保つ基本であり、私たちは豊富な実績と技術に裏打ちされた建物設備のエキスパートとして、法定点検・年次点検をはじめ、予防保全提案に至るまで幅広いニーズに対しても迅速かつ丁寧にお応えしています。

都市開発事業（水道事業・ガス工事関連）

当社グループは都市ガスや天然ガス、およびLPガス設備の施工管理において数多くの実績を誇っています。確かな技術と豊富な経験をもつ技術者たちを擁して、安全かつ安定したガス供給を支え、工場などさまざまな施設に応じたガス設備の施工を実現してきました。また、水道工事においても富山市の指定業者としての技術力を発揮し、配水管工事を始め、消雪工事や工場内の各種配管など活躍の領域を広げつつ、都市基盤整備の一翼を担っています。

TOTAL ENERGY
総合エネルギー事業

2020年10月に政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。また、2021年4月には2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すことを表明しています。これらの宣言や決定を受けて、大手企業を中心に従来の省エネルギーシステムや設備導入に加えて、再生エネルギー調達によるCO_2排出削減を図る脱炭素経営の取り組みが広がりを見せています。

エネルギーマネジメント事業

当社グループはエネマネ事業者として、お客さまの省エネ・省コストへのご要望に対し、総合的な視点でサービスを提供するサポート役としてお応えしています。

エネルギー管理士が店舗や事業所、工場などにおけるエネルギー使用実態を分析し、最適運用を自動化するエネルギーマネジメント・システム（EMS）の導入やエネルギーの一元管理支援サービスの提供を行う他、各種補助金支援事業の申請に必要な事務作業についてもサポートしています。

ハイブリット型　ヒートポンプエアコン スマートマルチ

スマートマルチは、GHPとEHPを組み合わせたハイブリッド空調機。

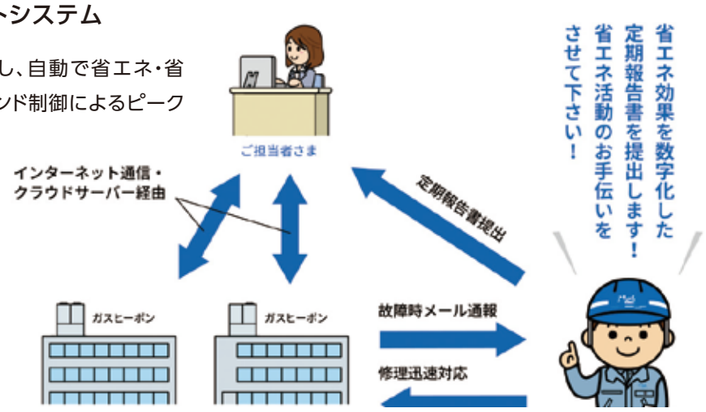
季節や時間帯に応じてガスと電気を最適なバランスで運転するとともに、省エネ・省コスト・省CO_2の運転モードから選択が可能です。

SMART MULTI

GHP用エネルギーマネジメントシステム

GHPをムダ無く効率的に運用管理し、自動で省エネ・省コスト・省CO_2を実現。さらに電力デマンド制御によるピークカットの実現も可能になりました。

遠隔監視・遠隔制御
スカイリモート SKY REMOTE SERVICE
見える化
Eneflex エネフレックス
自動省エネ制御
EneflexPremium



※ スカイリモート、エネフレックス、エネフレックスプレミアムは、大阪ガス（株）の登録商標です。

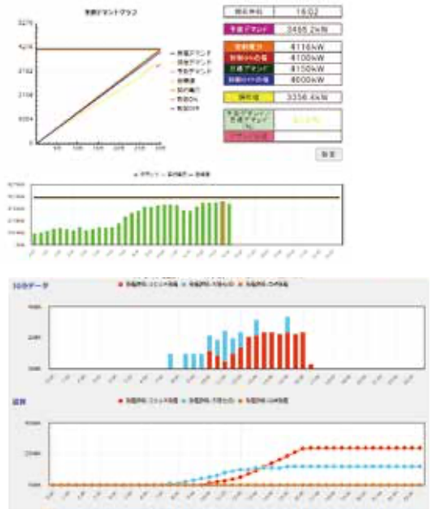
ハイブリッド型冷温水空調

ガス・油・電気のそれぞれの良いところをミックスし、お客さまのコスト最小化を実現します。最適化運転のパターンをメンテナンスすることで、将来の価格変動にも柔軟に対応しコストの最小化をキープできます。空調負荷の少ない中間期は、空冷式チラーのみの運転でリモコンでの冷暖切替が可能です。また低温時でも吸収冷温水機は外気温度に左右されず高暖房をキープできます。ハイブリッド空調は吸収冷温水機と空冷チラーの並列設置熱源となり、全館空調が停止することなく年間通して安心・快適に過ごすことができます。

※もっとsaveはDaigasエナジー（株）、東京ガス（株）の登録商標です。

EMSエネルギーマネジメントシステム

省エネの基本は、【見える化】です。見える化によって得られた情報を分析することが省エネ推進活動の第一歩となります。現場での機器メンテ情報とEMSの見える化で得られた運転データを分析し最適な改善策をお客さまへご提案します。



瞬時値と積算値が同一画面で管理でき、かつ富山・福井のように離れた設置箇所の機器データも一元管理できます。

TOTAL LIFE SUPPORT
トータルライフ事業

保険事業

損害保険・生命保険契約を取り扱う保険代理店業務を行っています。個人のお客さま向けには自動車保険、火災保険、生命保険を中心にお客さま毎に最適なご提案を行うことにより、生活に密着した安心の提供を目指しています。また、法人様向けには業務遂行に伴い発生が考えられるリスクをヘッジするための賠償責任保険、工事保険等を中心にご契約をいただいています。

リース事業

事業運営に不可欠なパソコン、複合機などの一般的な機器に加え、各業種に特有な事業用機器に至るまで幅広い物件をリースしています。リースの利用により、設備投資にまとまった資金負担が発生せず費用の平準化が図れます。また自動車リースにおいてはメンテナンス付きリースをご提供することにより、自動車に関連する各管理業務をお任せいただき、お客さまの省力化に寄与しています。

不動産事業

富山市内にアパート2棟、分譲マンション内の居住用物件3室、他に貸店舗及び事業用貸土地をそれぞれ1物件ずつ保有し、賃貸しています。アパート2棟では各部屋に充実したガス機器を揃え、居住者の方に快適なガスライフを提供しています。

飲食店事業・食品販売事業

2022年12月12日に株式会社TOSUMOライフスタイルを設立しました。

TOSUMOライフスタイルは、飲食店事業、食品販売事業を通して「食」を中心としたサービスの提供を開始しています。

飲食店事業では、星乃珈琲店富山天正寺店、高岡熊野店、および神戸クックワールドビュッフェ野々市店をオープンし運営を行っています。食品販売事業では、湯煎や電子レンジ等で簡単に調理できる乳幼児食の販売を開始しました。

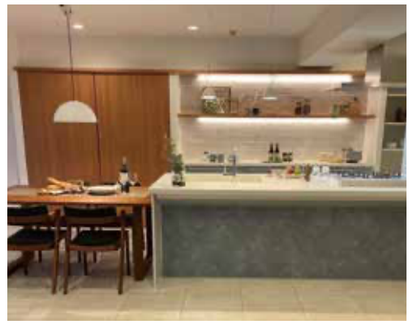
また今後は「食」以外の分野への事業展開も検討しています。

新築事業・リフォーム・リノベーション事業

2023年1月4日にモット日本海ガスから事業移管をし、新たな「くらし」と「すまい」を提供する株式会社TOSUMO建築設計を設立しました。

新築事業では、超高性能デザイン住宅『jigsaw』の取り扱いを開始しました。リフォーム・リノベーション事業では、水回りリフォームから間取りを変えるリノベーションまで提案の幅を広げていきます。

これまでのリフォーム中心の事業展開から、新築からリフォーム・リノベーションまで、「くらし」と「すまい」の術を、地域のお客さまに提案できるよう展開していきます。



2022年
モット日本海ガスTOSUMO建築事業部
リフォーム実績件数

リフォーム	624件
アフターサービス	121件
注文住宅	2件

お客さま満足（CS）向上への取り組み

当社グループでは、お客さまのくらし全般を支えるプロ集団として、快適でエコな暮らしの提案やお客さまのライフスタイルに合った幅広いサービスの提供に加え、当社グループの強みである「地域に密着した保安・サービス」を強化します。

「見極め」

ガス事業における保安調査や開栓、メーター取替といった作業について、確実な保安の確保と安定供給のため、業務を行うために必要な資格の取得とは別に、各作業の「見極め」を行っております。実際にお客さま宅での作業に携わる前に、日頃訓練した成果を一連の作業として行い、保安やCSなど複数のチェックポイント項目での審査により、当該業務への従事資格の合否を判断するものです。統一の適正な作業の実施を通して、お客さまへ安全と安心をお届けしています。

修理資格制度

様々な資格の取得を推進する一方で、会社独自の機器修理資格制度を設け運用しています。レベルに応じ1級から3級までの段階を設定し、各機器の作動フローや各部品の役割・機能、安全装置の仕組みの理解から、これに基づく故障診断、部品交換など修理対応の実施など、段階的に検定試験を行い、お客さまからの様々なご依頼に誠実・迅速にお応えできるよう努めています。これまで長きにわたり培ってきた重要な技術や技能の維持と伝承に寄与していきます。

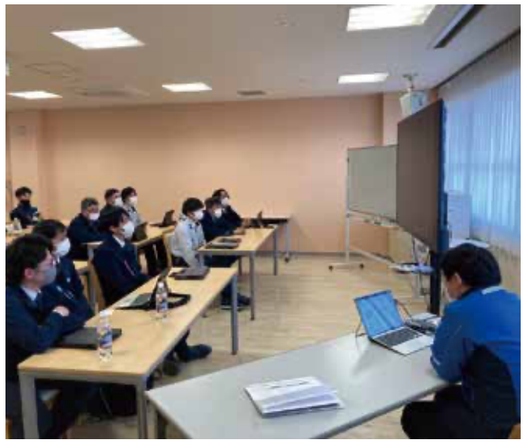
ライフタイムマネジメント

ガス事業法等に基づく定期保安点検業務の期限管理に加え、商談などのご訪問以降に、担当者が手書きでお客さまに感謝の気持ちをお伝えする「サンキューレター」の郵送や、1ヵ月後あるいは1年後の「フォロー巡回」を行うなど、お客さまとの接点機会を増やすことでよりよい関係づくりに努めています。また、お客さまのライフサイクルに応じたお困りごとやご要望、ニーズなどの情報を収集・分析しています。最適なタイミングでお客さまとの接点機会を創出し、快適なくらしのご提案とより良いサービスの提供を行い、お客さまとのより密接な信頼関係を築いていきます。

保安勉強会

繁忙期を迎える前に、開閉栓作業、ガスメーター取替作業、ガス漏れ検査についての手順のポイントについて再確認を行いました。作業が増加することで慣れによるミスを防ぐため、過去の事故事例を基に、ミスのポイントや防御策について話し合いました。

開栓については、お客さまとのファーストコンタクトとなり、安全安心にガスを使用いただけるよう基本に忠実な作業を再確認しました。



新たな領域への挑戦

CHALLENGE TO NEW FIELDS

北陸ビジネスプランコンテスト

2022年4月に北陸ビジネスプランコンテストを開催しました。当社グループの管理職がメンターとなり、決勝プレゼン大会ではライトニングトークで21チーム、決勝ファイナリスト6チームが熱と想いのこもったプレゼンを披露しました。

今後も北陸エリアでの新ビジネス創出を応援するための活動を行っていきます。

富山市オフセット・クレジット※の活用による イベントにおけるカーボン・オフセットの取り組み開始

日本海ガスが主催するイベント【ガス展2022及びとやまみらいフェス】で排出されるCO_2（燃料使用、系統電力使用、運営者・来場者の移動に伴い排出されるCO_2）を、富山市カーボン・オフセット運営協議会による「森のチカラ」富山プロジェクトで創出されたオフセット・クレジットを活用してオフセット（相殺）することによりCO_2排出量を実質ゼロとする取り組みをしています。

※富山市が立山山麓森林組合及び婦負森林組合と共同で、市内森林での間伐等の森林整備を行い、それにより増加したCO_2吸収量を、環境省が運営するオフセット・クレジット（J-VER）制度による認証を受け、発行されたクレジット

当社グループの経営理念である「快適で豊かなくらしの創造と地球にやさしい環境づくりに貢献する総合エネルギーグループを目指す」のもと、地域産のオフセット・クレジットを活用し、排出されるCO_2をオフセットすることで、CO_2排出量削減と地域循環共生の実現に貢献していきます。

コワーキングスペース運営委託開始

富山県立大学DX教育研究センター内にあるコワーキングスペースの運営を開始しました。このコワーキングスペースはオープンイノベーションの起点となる場として、共同研究や技術相談に至る前段階のアイデアレベルでのご相談をコミュニケーターがお聞きし、来訪者同士、教員・学生とのコラボレーションを創出する場です。

定期的に勉強会やワークショップを開催しているほか、DXの最新動向や知見の共有も行っています。これまでのインキュベーション施設HATCHの運営や北陸ビジネスプランコンテストの開催における施設運営やコミュニティ形成、イベント運営の知見を活かしてさらなる地域の持続的な発展に貢献していきます。